

2008年12月26日
特定非営利活動法人
日本プロカウンセリング協会
理事長 村上 勝彦

会員各位

2009年からの会員活動について

協会のNPO法人としての活動も来年で5年目を迎えます。これまでの皆様の声を反映し、会員の活動がしやすくなるように協会の機能強化と会員の活動強化を行います。

まず、第1弾として会員の活動内容として臨床経験の強化が挙げられます。カウンセラーとして、心理検査や臨床の経験数は不可欠です。これを支援する為にSVの場や所属やツールを会員に提供いたします。また、臨床や経験を協会に提出していただくことで、協会が個人の活動実績をオフィシャル承認します。

皆様が、日本プロカウンセリング協会の会員として、より活発に活動できるよう、第2弾、第3弾と新しい改革案を用意しておりますので日本のカウンセリング界を盛り上げていきましょう。

1、心理検査などのツール配布

協会員が個人、公のカウンセリング活動として必要な心理検査などの協会オフィシャルツールの配布をします。エゴグラムテスト、ソーシャルスタイル、カラー診断など順次会員に公開し、協会がカウンセリングで使用しているツールを自由に使っていただけます。

2、臨床件数や各種心理検査数の承認

会員が自己研鑽や公私にわたるカウンセリング活動によって得た臨床数や各種心理検査の実施数を協会が承認を行います。私たち会員の活動が公式な団体に記録され、蓄積されます。各種証明書の発行も行います。

3、協会活動用の名刺の配布

会員のカウンセリング活動を証明し、規約に準じた正当な協会所属のカウンセラーであることを明確にするために協会の名刺を配布します。入会時及び更新時は100枚を無償で、以後は有償での発行となります。協会の名刺は商標権などの関係で自由に製作することは

できません。

4、 ガイダンスや資料の提供

会員の活動や協会の活動内容を明確にクライアントや相手先に説明するために、会員の活動内容に応じてガイダンスを無料～実費で提供いたします。

以上を中心とした新たな活動を広げていきます。2009年1月より順次ご案内をさせていただき、4月には整備完了の予定です。

自己の成長が一番最初にできる社会貢献です。世の中が不安定になっている今こそ、自身の技術を研鑽し、社会に貢献する時代なのです。皆様と共に私も新たな未来へ挑戦していきたいと考えています。私たちの日本プロカウンセリング協会を共に盛り上げていきましょう。